木高新聞

発行所
青森県立木造高等学校
生徒会
印刷所
有限会社　光陽印刷

「夢」「志」なき者に成功なし

校長　大瀬　雅生

木造高校の歴史と伝統を受け継いできた「志」の精神、

一　誠実・勤勉・親切に努める
一　文武両道に努める
一　凛として気品ある木高生に努める

これが「木高魂」である。

本校第二十一代校長であり、新高一回卒業生であります花田陽悟先生は、後輩への言葉として、

「私たちにとってあのグラウンドは、単なる『物』ではなく、立派に血潮の流れに生きたグラウンドであった。それは先輩達が、そして私達が流し込んでやった血潮なのだ。だから、何時になっても、何処へ行っても、母校のグラウンドはやはり私達のものでもあるのだ。若し諸君が、学業においても、スポーツにおいても、他の先進校に太刀打ちできないと感じているならば、それはあまりにも勇気のないことではあるまいか。諸君が大いなる意欲と、決意をもって漕ぎ出したならば、諸君の前途には、必ずや新しい水路が開けるであろう。」と述べています。

頑張っていた自分が、ここに来ればいつでも高校時代の自分に戻る。木造高校を卒業しても、常に母校に対する誇りを持ち、前を向いて進んでいく。それが木造高校生であると伝えています。

伝統とは「固定」するべきではなく、むしろ「伝統は成長する」ものだと私は考えています。

さて、高校生活は、楽しいこともあるでしょうし、悩むこともあるはずです。特に学業や部活動、友人関係で悩むことは数多くあると思います。その時に「楽しみながら前向きに考えられる」思考が生活を大きく変えます。悩んでいるときに「楽しみながら」できないと考えがちですが、逆に言うと、「悩んでいるときに、いい考えが生まれますか。」ということです。楽しみながら、何事にも前向きな良い解釈ができるかどうかで、人生が変っていくのです。

私たちはどうしても、前に行ったことを踏襲してしまい、「どうせ無理」という否定的な言葉が出てきます。この言葉は、前向きに物事を考え進めていくとき、私たちの意欲をそぐ言葉になります。私たちは、「できるか・できないか」を考えるのではなく、「どうしたら、できるか」を考えるべきなのです。「やらない」を選択した場合、その時の成功率は０％です。多くの人が「やる」か「やらない」で「やらない」を選択してしまいます。どんなにすばらしい「志」をもっていたとしても、また、どんなすばらしい能力があったとしても、やらなければできません。

自分に自信がないのであれば、小さく実践し、検証し、問題を解決していくことが大切です。そうすれば、「できる」という自信に繋がります。本当に自分に夢があり、自分がやりたいこと（目的）があるのであれば、迷わず「やる」。そして、その中で「どうすればできるか」を考えていくべきです。

つまり、「一人ひとりの夢の実現」に向けての過程では、必ず困難や苦しみが伴う場合があります。しかし、逃げることなく、向き合う勇気を持ち、乗り越えるまで頑張るという忍耐力が大切です。江戸時代末期の志士である吉田松陰は、以下のように述べています。

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。

皆さんの「夢」は何か、皆さん一人ひとりが目指すものは何か。どうしたらそれが出来るかをしっかり考え、「志・夢」をもち、行動することが、自らの道を切り開いていくことに繋がるのではないでしょうか。

最後の春

生徒会長　32ＨＲ工　藤　愛　留

コロナ禍に入り３回目の春を迎えました。新型コロナウイルスと共に歩んできた生徒会ですが、常に進化し猛威を振るい続けるコロナに苦悩を強いられてばかりです。今回は、今年度の前半の振り返りをしようと思います。

年度の初めに、新入生歓迎会がありました。昨年度末から準備を進めてきましたが、コロナにより何度も次第を変更しました。春休みにも関わらず、何度も出校し、全員で協力し合いながら作業を行い、無事に行うことができました。次に、前期生徒大会がありました。しかし、私は、体調を崩してしまい、結果として全員に迷惑をかけてしまいました。ですが、仲間の支えもあり無事に行うことができました。

そして、一学期最大の行事である木高祭がありました。今年度もオルテンシアでの開催でした。今年こそは校内祭をやりたいという一心で計画に取り組みましたが、感染者数の高止まりや、感染リスクを抑えることができないことから判断し、オルテンシアでという運びとなりました。正直悔しいです。可能性が見えていたのに、実現できなかったのが一番悔しいです。そのため、総合競技大会は、全ての競技を行えるよう頑張ります。

来年は、コロナの勢いも弱まり、ほとんどの行事が通常開催できると願っています。その際は、去年、今年の悔しさを糧に、例年以上に素晴らしい行事を企画・運営してくれると思います。

全国大会出場者

2022 躍動の青い力 四国総体

令和４年度 全国高等学校総合体育大会

陸上競技部

男子１１０ＭＨ　31ＨＲ　竹内　豪

インターハイでは、目標にしていた入賞を達成することができないばかりか、怪我で最後まで走りきれないという悔しい結果に終わりました。大舞台で自分の全力を出し切ることの難しさ、様々なことを想定して準備しておくことの大切さを学び、高校生活最後の試合を、終えました。

弓道部

男子団体　32ＨＲ　小野　亘

インターハイでは一射一射を大切にし、最後まで練習してきた自分達の射をすることが出来ました。結果は予選で一本足りず、競射となり、その競射で敗退しました。後輩達には、自分達以上の結果を出すためにも日々の練習頑張ってほしいです。

男子個人　33ＨＲ　小林　大輝

インターハイの個人戦に出場することが出来て、嬉しかったです。試合では体験したことがない雰囲気と緊張感がありました。平常心で試合に臨むことは難しく、満足のいく射ができず、悔しい結果に終わりました。しかし、この結果を含めて、自分にとって良い経験になりました。

柔道部

男子団体　33ＨＲ　横山　大士

私たちは一回戦で、春の選手権ベスト８の石川県代表鶴来高校と対戦しました。前評判通りの強敵で苦戦しましたが、全員が善戦し、三対一で勝利することができました。二回戦は春の選手権王者の福岡県代表大牟田高校と対戦し、三対〇で敗戦しました。今回の大会で三年生は引退ですが、三年間の経験を生かしてこれからも頑張ります。後輩のみんなもファイトやで～。

女子個人48kg級　23ＨＲ　松橋　音葉

今年で二回目となるインターハイは、自分の力を出し切れずに終わってしまいました。やっぱり全国大会はレベルが高く、学ぶべき所がたくさんありました。この経験を今後の練習に生かして、来年もインターハイに出場し、リベンジできるように日々努力します。

2022 とうきょう総文 第46回 全国高等学校総合文化祭

競技かるた部

34ＨＲ　野崎　美優

高校生活最後の高総文だったので、今まで以上に大会に向けて努力しました。大会初日は予選リーグで何とか勝ち切ることができ、翌日の決勝トーナメントへ進むことができました。初戦は群馬県チームと対戦し、負けてしまったものの、間違いなく私たち青森県チームが一番団体戦を楽しみ、五人が一つにまとまって立ち向かえていたと思います。ベスト16という悔しい結果ですが、力を出し切ったと思える試合でした。二年半支えて下さった先生方、先輩方、一緒に頑張ってきた仲間に感謝したいです。

演劇部

34ＨＲ　成田　怜史

私は、東京で行われた全国総文演劇部門に生徒講評委員として参加しました。全国から集まった上演校の作品はどれも非常にレベルが高く、その一つ一つが心に残り、内容を深く考えさせられるものでした。講評委員会の仲間たちと討論をして意見を共有したことで、演劇に対する理解が深まりました。

JRC部

24ＨＲ　江良　美唯菜

全国高総文祭東京大会に、青森県代表として参加しました。県の代表６名は、初対面ながらも抜群のチームワークを発揮し、活動発表は大成功でした。フィールドワークでは、全国の生徒との交流と、他県のいろいろな視点から見たアイディアを聞くことができ、とても有意義で楽しい時間でした。

令和４年度　高校総体等各種大会　結果一覧（運動部）

部活動名	大会名	種目	順位	氏名	
陸上競技	高校総体	男子 400 m	4位	澤田翔空	東北大会
		男子 800 m	1位（大会新）	澤田翔空	東北大会
		男子 110 mハードル	1位（大会新）	竹内　豪	東北大会
		男子ハンマー投	5位	三浦大樹	東北大会
		女子 100 m	2位	太田優那	東北大会
		女子 200 m	3位	太田優那	東北大会
		女子走幅跳	2位	太田優那	東北大会
		女子４×100 mリレー	8位	小野・太田・渋谷・白川	
	東北高校陸上大会	男子 110 mハードル	4位	竹内　豪	全国大会
		男子 800 m	8位	澤田翔空	
柔道	高校総体	男子団体	1位		全国大会
		男子個人 60kg 級	1位	工藤大輝	全国大会
			3位	長利青空	
		男子個人 66kg 級	3位	笠井鳳聖	
		男子個人 73kg 級	3位	工藤暁宗	
		男子個人 81kg 級	1位	佐藤信吾	全国大会
		男子個人 100kg 級	1位	對馬　蓮	全国大会
		男子個人 100kg 超級	2位	横山大士	
		女子団体	2位		
		女子個人 48kg 級	1位	松橋音葉	全国大会
			3位	工藤　桜	
		女子個人 52kg 級	2位	今　彩香	
		女子個人 57kg 級	3位	増田結月	
		女子個人 70kg 級	3位	葛井七虹	
弓道	高校総体	男子団体	1位		全国大会
		女子団体	準決勝敗退		
		男子個人	2位	小林大輝	全国大会
剣道	高校総体	男子個人	1回戦敗退		
バレーボール	高校総体	女子	2回戦敗退	1回戦　2－0　六戸	
				2回戦　0－2　三沢商業	
バスケットボール	高校総体	男子	1回戦敗退	1回戦　104－62　青森工業	
		女子	ベスト８	2回戦　59－57　弘前	
				3回戦　88－33　六六野連合	
				準々決勝　42－105　柴田学園	
バドミントン	高校総体	女子団体	1回戦敗退	1回戦　0－3　弘前工業	
テニス	高校総体	男子団体	1回戦敗退	1回戦　0－2　青森西	
		女子団体	1回戦敗退	1回戦　1－2　弘前南	
卓球	県高校総体	男子団体	2回戦敗退	2回戦　0－3　弘前中央	
		女子団体	2回戦敗退	2回戦　1－3　弘前	
硬式野球	選手権大会青森大会		2回戦敗退	2回戦　3－8　弘前南	
ソフトボール	高校総体		2回戦敗退	1回戦　15－8　八工大二	
				2回戦　1－8　聖ウルスラ	
相撲	高校総体	男子団体	3位		
		体重別個人戦 80kg級	1位	福井　魁	全国大会
		体重別個人戦 80kg級	3位	神　哲平	
		体重別個人戦 100kg以上級	3位	松野将太	
サッカー	高校総体		1回戦敗退	1回戦　2－5　弘前実業	

令和４年度　大会結果一覧（文化部）

部活動名	大会名	種目	順位	氏名	
競技かるた	第 24 回青森県高校かるた選手権大会	団体	2位		
		個人Ａ級	4位	野崎美優	全国高総文

部活動報告

陸上競技部男子
33ＨＲ　澤田 翔空

陸上競技部は、５月下旬に行われた高校総体に出場し、男子１１０ｍＨと男子８００ｍの優勝を含む計六種目で東北大会の出場を果たしました。また、その後の東北大会では男子１１０ｍＨでインターハイ出場を果たし更なる活躍が期待されます。

これからも支えてくださった方々への感謝の気持ちや競技を楽しむ心を忘れずに日々の練習を大切に取り組んで行きます。そして日々自己記録更新に向けて取り組んで行きます。

陸上競技部女子
33ＨＲ　白川 莉桜

陸上競技部は、５月下旬に行われた高校総体に出場しました。結果は、女子三種目、男子三種目で東北大会出場を決めることが出来ました。また、６月に行われた東北総体では１１０ｍＨでインターハイ出場を決めました。練習でも大会でも思うように行かず不安でしたが、一人一人が全力で挑むことが出来たと思います。

いつでも支えてくれている先生方、家族、仲間への感謝の気持ちを忘れず日々の練習から真剣に取り組んで欲しいと思います。

硬式野球部
34ＨＲ　渡邊 優豪

今年度の野球部は、リーグ戦と地区大会を圧勝で勝ち抜き出場した春季県大会で、県ベスト８という結果でした。この県ベスト８という結果を原動力に夏の大会に臨みました。対戦相手は昨秋の県大会で敗れている弘前南高校。私たちは雪辱を晴らすべく奮闘しましたが、８対３で敗れ、二回戦敗退という大変悔しい結果に終わりました。真剣に甲子園を目指していたからこそ、本気で悔しい夏となりました。

１、２年生には私たち以上の結果を残せるように、日々の練習を大切に、監督さんの指導の下、全力で頑張って欲しいです。

ソフトボール部
33ＨＲ　小山内 日向

私たちは人数不足により単独チームとして活動できない中、合同チームで高校総体に挑みました。新型コロナウイルスの影響で合同練習も十分に行うことができず、本当にチームとして一つになれるのかという不安が日々付きまといました。しかし一人一人の「勝ちたい」という意識のおかげで、総体では立派に戦えるまで成長することができました。一試合目は八戸工業大学第二高校に勝利し、二試合目は聖ウルスラ高校に８対１で敗れました。一、二年次にはこの経験を活かし、更なる高みを目指して頑張ってほしいです。木高一応援しています。

サッカー部
31ＨＲ　開坂 悠生

サッカー部は高校総体で弘前実業高校に２対５で敗けてしまいました。しかし、強豪相手に２得点を奪えたのは、４月からのキツい練習の成果からだと思います。

３年次が引退すると１、２年次は少人数で練習しなければなりませんが、腐らず前を向いて練習を頑張ってほしいと思います。３年次も空いてる時間があれば顔を出すので、その時は一緒に練習をしましょう。今後、誰が部長になるか分かりませんが、部長になった人はしっかりチームをまとめて、常にチームの先頭をきれるようになってほしいです。

バレーボール部
33ＨＲ　須藤 陽香

バレーボール部は、一回戦で六戸高校に２対０で勝利し、二回戦で三沢商業高校に０対２で敗退しました。ベスト８には入ることができませんでしたが、最後まで自分達のバレーをやり切ることができました。このコロナ禍で、思うように活動できず悔しい思いをたくさんしてきましたが、その度に指導者や父兄の方々の支えのおかげでやり切ることができました。新チームになり大変なことが多いと思いますが、周りへの感謝を忘れず頑張ってください。

男子バスケットボール部
31ＨＲ　木村 颯也

私たちは6月4日に青森県立青森工業高等学校で一回戦は青森工業高校と対戦しました。前半から相手の気迫に押され、流れを掴むことが出来ず一回戦敗退という悔しい結果で終わりました。ですが、コロナ禍の現在高校総体に出場できたことに感謝します。また、これまで支えて下さった先生やコーチ、部員の皆にも感謝の気持ちでいっぱいです。１、２年次はこの悔しさを忘れることなく一日一日の練習を大切にして一回でも多く勝てるよう頑張って下さい。

女子バスケットボール部
31ＨＲ　奈良 采海

私たちは昨年に引き続き総体でベスト４をとるという目標を掲げ大会に挑みました。私たちの初戦の相手は一回戦で圧勝し勢いに乗っていた弘前高校でした。大接戦の末57対59で勝利しました。準々決勝まで勝ち進みベスト８が確定しました。準々決勝の対戦相手は昨年のインターハイベスト８の柴田学園でした。結果は42対105で敗退しました。ベスト４という目標は達成することはできませんでしたが最後までチーム一丸となり全戦全笑のスローガンの下戦い抜くことができました。後輩にもこの目標を受け継いでもらいたいです。

男子テニス部
31ＨＲ　五十嵐 彪冴

男子テニス部は新青森県総合運動公園で高校総体が行われました。結果からいうと四人制団体戦は青森西高校に２対０で敗れ、シングルスとダブルスでも一回戦敗退でした。選手は全員もれなく緊張していました。プレイ中に本来の動きがとれず悔しそうでした。後輩達には頼れる先輩を見せてやれなかったことを後悔しています。結果はどうであれ楽しい部活は創れたと思います。一、二年次のみんなには思ったことがあったらみんなに言って欲しいです。喜びや悲しみを同じくらい感じ取れるのは友達だけだから。

女子テニス部
32ＨＲ　江良 彩夏

高校総体1日目の団体戦、弘前南高校と試合をし、２対１で敗退。２日目、３日目のダブルス、シングルスの試合でも良い結果を残すことができず、とても悔しい思いをしました。新体制になってから、顧問・コーチが変わり、不安な毎日でしたが、たくさんの人に出会い支えられ、チームとして成長することができました。今までお世話になった方々には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。後輩たちには、楽しんでテニスすることを忘れずに、みんなで協力して頑張ってほしいです。応援しています。

卓球部
32ＨＲ　工藤 玲奈

卓球部は、大会ベスト８を目指して日々練習を頑張ってきました。男子学校対抗は二回戦で、女子学校対抗は一回戦で敗れました。ダブルスは女子が３ペア出場し、一回戦敗退、個人戦では男子一名と女子五名が出場し、最高で三回戦敗退という結果でした。高校総体では、目標のベスト８には届きませんでしたが、皆全力で戦う事ができました。次の県新人大会では後輩達には「一打入魂」を胸にベスト８を目指して頑張って欲しいです。最後に、この三年間は仲間や先生にも恵まれて最高の思い出です。本当にありがとうございました。

バドミントン部
34ＨＲ　境谷 咲歩

バドミントン部は、六月一日から行われた高校総体に出場しました。団体戦、弘前工業高校に敗れて一回戦敗退という悔しさが残る結果に終わりました。コロナ禍で思うように練習が出来なかった時期もありましたが、仲間と支え合いながら最後まで部活をすることが出来て幸せでした。バドミントン部に関わってくれた全ての方々にとても感謝しています。高校総体では、目標を達成することは出来ませんでしたが、一、二年次には更なる高みを目指して頑張って欲しいです。

柔道部
33ＨＲ　横山 大士

私たち柔道部は6月に行われた高校総体に向けて毎日一生懸命に活動してきました。その結果多くの部員が東北、全国大会に出場することが決まり、そこから毎日の活動はさらに厳しいものになっていきました。東北大会では団体、個人ともに悔しい結果に終わってしまった部員がほとんどだったので、これから行われるインターハイでは、これまでやってきたことを十分に発揮し、悔いの残らない思い出に残る大会にできるよう頑張ります。

剣道部
34ＨＲ　山田 俊輔

今年の高校総体は十和田市で行われました。入賞することは出来ませんでしたが、それぞれがベストを尽くして戦い抜くことが出来たので良かったです。

後輩のみんなは今回の試合で学んだことを踏まえて、今後の練習に励んでいってほしいです。大変なこともたくさんあると思いますが、少ない仲間なのでお互いに協力して頑張ってください。

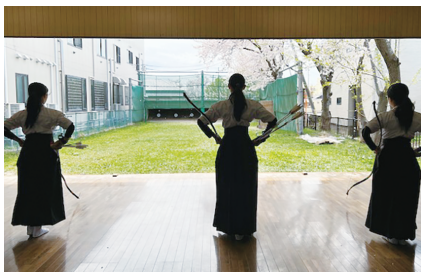
最後にこの三年間支えてくださった顧問の先生やコーチには本当に感謝しています。剣道部として活動してよかったです。ありがとうございました。

男子弓道部
32ＨＲ　吉田 晴翔

男子弓道部は六月に行われた高校総体に出場しました。個人戦では小林と新谷、小野が予選を通過し小林が準優勝をしました。団体戦では、優勝と技能優秀賞を勝ち取ることができました。その結果、個人と団体で全国・東北大会の出場権を獲得しました。六月に行われた東北大会では一中足りず予選敗退となってしまったので、この悔しさをバネに八月に

弓道部女子

31ＨＲ　福士　結以



女子弓道部は、高校総体団体戦で予選を９位で通過することが出来ましたが、準決勝で思うような結果を残せず、準決勝敗退となりました。団体・個人共に自分達が満足出来る結果ではなく、悔しい気持ちもありますが、仲間と同じ目標に向かって努力したことで得たものをこれからに活かしていきます。指導し、支えてくださった先生方、コーチ、先輩方や後輩、家族、仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。後輩には私たちの思いを受け継いで、大会で活躍して欲しいです。心から期待しています。頑張れ！

相撲部

12ＨＲ　松野　将太

今年度新たに１年生三名が入部し、木造高校相撲部が復活しました。高校総体では団体戦で３位に入賞し、個人戦でもそれぞれが結果を残すことができ、全国大会や東北大会に出場できることになりました。全員が１年生で臨んだ大会で不安もありましたが、今後に向けて大きな自信になりました。しかし、私達はこの結果に満足することなく、先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎ、さらに発展させていけるように今後も一生懸命、稽古に精進していきたいと思いますので応援よろしくお願いします。

吹奏楽部

32ＨＲ　坂田　桃香

吹奏楽部は、三十四人で活動してきました。３年ぶりに開催されたつがる市の春祭りに参加することができ、昨年度より地域の方々と触れ合うことができました。また、６月５日の定期演奏会には五百人近くのお客様が来場して下さいました。七月には私達３年生が演奏する最後の大きな大会、コンクールがあります。昨年度は納得のいく結果ではなかったので、今年は悔いの残らない演奏をしたいと思います。

私達を応援して下さる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、頑張ります。

競技かるた部

33ＨＲ　奈良　心優

競技かるた部は、団体戦優勝と個人の昇段を目標に活動してきました。コロナの影響で合同練習や大会が減ってしまいましたが、普段の練習から常に目標を持ち、部員同士アドバイスし合い、助け合いながら練習してきました。大会結果は、団体戦は準優勝と悔しい結果でしたが、個人戦では一人全国大会出場を決めました。木造高校の良いところは学年を超えて切磋琢磨できるところです。後輩が成長していく姿はとても嬉しいです。悔しい思いはしてほしくないので、先輩を超える勢いで頑張ってください。応援しています！

ワープロ部

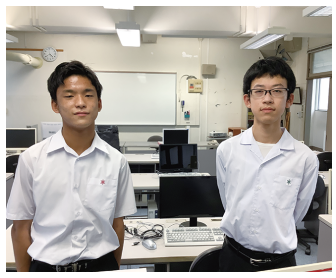
32ＨＲ　藤本　伊織

ワープロ部は、一年次一名、三年次一名、顧問の川上先生と佐々木先生と活動しています。このメンバーで仲良く活動に取り組んできました。活動の内容は、大会、ビジネス文書実務検定などの取得のための練習です。

三年次引退後は、一年次が新人大会に向けて練習していくと思います。部員数が少なく大変だとは思いますが、自分の目標を決めて達成できるように日々の練習を頑張ってほしいと思います。また、大会では後悔の残らないように精一杯楽しんできてほしいと思っています。

珠算部

33ＨＲ　秋元　あこ



六月に行われた県大会青森予選では良い結果を残すことができませんでした。しかし、自分ができることはできた大会でした。また、後輩の二人もそうだと思います。２年生がいなくて、３年生と１年生での活動で、私が引退して１年生だけの活動になってしまったけれど、２人は先生やコーチと資格取得に向けて頑張ってください。二人はあと２年ほどあります。まだまだ伸び代があります。少しずつでも良いので、できることを増やして大会で良い結果を残してきてください。応援しています！

ＪＲＣ部

33ＨＲ　野呂　唯人

ＪＲＣ部は三年次生引退後、十二名で活動しています。三年次生は木高祭までの活動になるため、自分たちに今できることは何かを考え企画しました。コロナ感染予防の各部活動、ＨＲごとのポスターの掲示と日本赤十字社人道危機救援金のためのチャリティー募金です。また、三年次生にとってＪＲＣ部への想いも形にしました。

四月からの緑の募金、ユニセフ募金等たくさんの協力に感謝します。

さらに二年次生の江良さんが青森県代表の一人として「とうきょう総文２０２２」に参加します。木高ＪＲＣ部員として活躍してくれると思います。

私たちが先輩から託された活動を後輩に繋ぎたいと思います。あとは任せたよ。

茶華道部

34ＨＲ　中野　里南

茶華道部は、現在三年生二人で毎週木曜日に活動しています。活動内容はお点前のお稽古や華道のお稽古をしています。新型コロナウイルスの影響で活動日が少なくなってしまったり、木高祭でお茶会が結局一度も開催することができなかったりと残念だったこともありましたが、限られた時間の中で仲間と教え合いながらお稽古をすることができたので良かったです。三年間、仲間と一緒にとても楽しく活動をしていくことができて嬉しかったです。

書道部

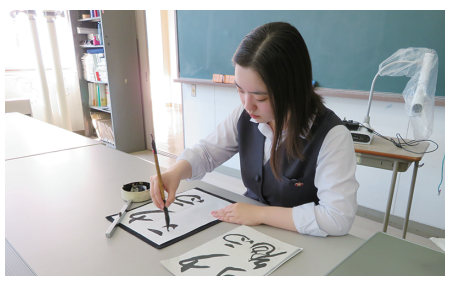
31ＨＲ　秋田　芽里

書道部は、三年次一名と顧問の牧方先生で活動しています。活動内容は高総文や木高祭での作品出展です。今年が最後の作品作りになるので今までやってきた思いを込めて最高の作品になるように、ラストスパートをかけて取り組みます。そして部員が私一人という厳しい状況なので、新入生や在校生に入部したいと思わせるような作品を残したいです。

この状況下で、指導してくださる先生方に感謝を込め、今までの中で一番良い作品を作り上げたいです。

演劇部

33ＨＲ　秋田　愛香



演劇部は一年次三名、二年次五名、三年次六名の計十四名で活動しています。主な年間の活動は、木高祭、コンクール、冬季発表会での上演やボランティア活動など多岐にわたります。現在は木高祭に向けて劇練習に励んでいます。３年生として最後の舞台を悔いなく終えられるよう精一杯頑張ります。笑顔の絶えない演劇部として皆さんに最高の舞台をお届けできるよう部員一同力を合わせてこれからも活動していきます。応援よろしくお願いします。

美術部

34ＨＲ　小野　日真里

今年の美術部は三十六人で活動しています。活動内容は基本的に自由に制作活動をしています。デッサンやイラスト制作や造形など色々な表現方法で作品を制作したり、部長の趣味で撮影会も行なっています。

感染症の影響もあり少人数でしか活動が出来ない状態で、部員同士のコミュニケーションが限られているのが残念です。一・二年生はこれからも好きな作品を制作してくれると嬉しいです。私たち三年生も高総文に向けて作品制作を頑張ります。

イングリッシュクラブ

31ＨＲ　鈴木　菜生

イングリッシュクラブは毎週月曜日にＡＬＴのアリソン先生と顧問の藤田先生と一緒に活動しています。英語を使って色々なゲームをし、英語でのコミュニケーションを楽しんでいます。今年度はイースターの時期にエッグハントをしました。昨年度は、タコスパーティーやハロウィン、クリスマスパーティーを実施し、とても楽しい活動を行いました。今年度は一年生が沢山入部してくれたので、部活動がとても賑やかになって嬉しかったです。コロナによって出来なかった活動もありますが、三年間とても楽しく活動出来ました。

馬市まつり実行委員会

34ＨＲ　成田　紗埜

今年の馬市まつりは中止にならずに、約２年ぶりの開催となりました。馬の尻尾は赤・青・緑の木高カラーだったり、体にはイチョウの葉をあしらったり、「木高らしい馬」をテーマにデザインを作成しました。つがる市の一大イベントを馬市まつり実行委員として参加することができて、本当に嬉しいです！

大雨が降るなど天候に左右されてしまい、なかなか作業が進まなかった時期がありましたが、委員会のメンバー、講師の方々と協力し、立派な馬が完成できるように頑張ります。

遠足

6月に予定されていた遠足が雨で延期され、7月15日（金）に実施された。この日も途中から雨にみまわれたが、生徒たちは久々の遠足を楽しんでいた。

12HR　高木 芭菜

高校生になって初めての遠足は、私にとってとても楽しい行事になりました。午前に行った亀ヶ岡遺跡では、雨が降っている中、ガイドさんの話を聞いたり、資料室では土器や砥石などを見たりしました。午後は三内丸山遺跡に行きました。丁度、晴れていたため友達と遺跡を見たり、先生方に写真を撮ってもらうことができました。最後にみんなでおいしいアイスも食べました。この一日、遺跡について改めて知ることができたし、また、クラスのみんなのとてもステキな笑顔が一番多く見られた日だと思いました。

23HR　松橋 瑠夏

私たちは去年コロナ禍のため遠足に行けなかったので、今回が高校に入って初めての遠足でした。あいにくの雨でしたが、高山稲荷神社も富士見湖パークの鶴の舞橋も景色が美しい場所で、雨粒が反射してよりきれいに見えました。高山稲荷神社では、多くの鳥居や狐の石像が並んでいて神秘的でした。富士見湖パークでは紫陽花がとても綺麗で、梅雨の時期に来れて良かったなと思いました。また、本物の鶴を初めて間近で見れて、赤い頭が可愛かったです。高校生になって初めての遠足はとても楽しく大切な思い出になりました。

33HR　工藤 琴音

私たち三年生の遠足は、立佞武多の館と斜陽館の五所川原ツアーでした。立佞武多の館ではねぶたの歴史や制作を楽しく学ぶことが出来ました。今年はねぶたが三年振りに開催されるので新作が楽しみです。

金木では、津軽三味線の演奏を初めて生で聴き、迫力と技術のすごさ、繊細さに圧倒されました。斜陽館ではガイドさんの説明を聞いたあとに見学しました。疎開の家にも行き、太宰治の人生を全身で感じ、少しですが作品に触れることもできました。改めて地元の魅力を楽しめた遠足でした。

木高祭

7月9日（土）、オルテンシアで木高祭が実施され、この日のために練り上げた生徒たちの素晴らしいパフォーマンスが披露された。

《クラスパフォーマンス》

1年最優秀HR

13HR　葛西 未々

私たち13HRは、ABEMAの恋愛リアリティーショー「今日、好きになりました」をテーマにパフォーマンスをしました。初めは、会長やリーダーの指示に「はい」と従うことしかできなかったけど、練習を重ねるにつれ、「もっとこうしたらいい！」と意見を言い合う場面が増えました。本番ギリギリの調整も多く、不安が沢山ありました。でも、13HRらしくステージで力を発揮することができたのでよかったです。より仲が深まった最高の文化祭になりました。

2年最優秀HR

23HR　秋田谷 妃高

23HRは委員長を中心に個性的でノリが良い人がたくさんいるクラスです。私たちのクラスは皆がお互いの存在を認め合い助言し合いながら、一丸となって練習できたことが今回のクラスパフォーマンス優勝につながりました。今年の2年次はどのクラスもパフォーマンスのクオリティーが高く、各クラスとのライバル関係があったからこそ、お互いに良いパフォーマンスができたと思っています。どのクラスも自分達らしさが感じられる出来で、楽しかったです。ステージで披露した作品が教室の後ろに飾ってあるので、ぜひ見て下さい！皆、お疲れ様！

3年最優秀HR

33HR　澁谷 歩惟

一位でも二位でも呼ばれず、肩を落とした去年の文化祭から一年。短い準備期間の中、何度も構成を練り直して完成させました。ハイスクールミュージカルをモチーフに、とにかく全員でダンスの練習に励み、沢山考え沢山笑った濃い練習時間を経て迎えた本番。カラフルな衣装とクラスみんなの笑顔が光り、今この瞬間を楽しむ三組の良さが全て詰まったパフォーマンスだったと心から思います。最高の思い出、そして何より本当に楽しかったです！三組のみんなありがとう！

《文化部発表》

演劇部

競技かるた部

吹奏楽部

木造高校の探究学習

1年次　総合的な探究の時間 ◇ 産業社会と人間 ◇

産業社会と人間では、ライフプランとキャリアプランをあわせた「夢プラン」の作成に向けて、職業人講話や様々なワークショップを通じて自己理解に努めています。

2年次　総合的な探究の時間 ◇ 地域未来探究 ◇

九つのプロジェクトチームに分かれ、地域社会の諸課題について、自分たちの生活と関連付けながら探究することを通して、主体的に課題解決に向けて取り組んでいます。

3年次　総合的な探究の時間 ◇ 私が生きる未来探究 ◇

個人の興味・関心に基づき設定した課題解決に向けて主体的に探究することを通して、進路を実現するための力を身に付けることをめざしています。

2,3年次　総合的な探究の時間 ◇ ガシャ活 ◇

32HR　松野 こゆき

私たちが保全しているガジャモクは食べられず、これといったインパクトもなく、地味な見た目をしています。よく、「ガジャモクって保全して何になるの?」と聞かれることがあります。皆さんは保全活動の意義を考えたことはありますか?保全活動の意義は「その生物の未来だけでなく、地球の未来を守ることにも繋がっていること」だと私は考えます。だからこそ、「未来を守る活動」の一つとして、身近な保全活動であるガジャ活に少しでも興味を持ってもらえたら幸いです。

2017年につがある市の湖沼で発見された幻の水草「ガシャモク」を本校で育成し、国立大学法人弘前大学農学生命科学部付属白神自然環境研究センターと共同研究し、生育地保全の活動を通して地域の豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいくための活動を行っている。